

国際交流員マシアスのコラム

「コーヒーを飲みながら

おしゃべりは潤滑油

言葉はコミュニケーションのキーですね。私は下野市に来てから、それを確かに感じています。インターネットでは、色々な問題について若い人からお年寄りまで多数の意見を聞くことができます。フォーラムやブログ、TwitterやFacebookは難しくしように聞こえますが、実は簡単で、たくさんの意見や経験を共有することができま

す。特にFacebookは、同じ興味や哲学を持つ人々を見つげるために便利なツールであると同時に、意見が異なる人と話し合うチャンスも提供しています。また、そのチャンスの提供の場として他に挙げられるのは茶話会ではないでしょうか。おしゃべりは人間にとって大切であり、万国共通の潤滑油だと思います。

コーヒーを飲んで過ごす時間

私のドイツにいる祖母は現在87歳ですが、24歳から同じ仲間と月1回「カッフエクレンツシエン(Kaffeekraenzchen)」でコーヒーを飲んで、会話を楽しんでいました。

コーヒー、紅茶、アルコールすべて潤滑油ですね。最近流行りのコー



しよ。

交流を通じて世界に

自分の頭の中に流れているアイデアを外に出して、他の人の意見や考え方でそのアイデアを研ぎ澄ませば、すごいことができるのでは？世界的に有名なオスカー・コシユカ (Oskar Kokoschka) 画家やエゴン・シーレ (Egon Schiele) 画家) やアドルフ・ロース (Adolf Loos) 建築家) がそれを証明していますよ！

そこで、下野市では初めての試みで「下野市フリートークサロン」を開くことになりました。ホストはもちろん下野市のヒゲ男爵国際交流員マシアスです。コーヒーやお茶(または他のホット&コールドドリンク)を飲みながら語り合い、自由空間を楽しみましょう！

ヒートアップでは、自分一人で携帯電話やノートパソコンでFacebookを見ながら時間を過ごすことが「新しい文化」になりつつあります。一方、オーストリアでは、古くから仲間と語り合いながらコーヒーを飲んで時間を過ごす「ウィーンのコーヒー文化 (Wiener Kaffehauskultur)」があります。どちらもコーヒーを少しずつ飲みながら他者とコミュニケーションを図ります。



「新しい文化」のイメージ



「ウィーンのコーヒー文化」のイメージ

国際交流員イベント 第10回「マシアスの町遊び」 下野市フリートークサロン

今回のイベントは、コーヒーやお茶を飲みながら自由に会話を楽しむ、「フリートークサロン」を開催します。話題は趣味、最近気になっていること、面白い経験など何でも結構です。皆さんの頭の中に流れているたくさんのアイデアを聞いてみたいので、お気軽にお越しください。

飲み物はこちらで用意しますので、お気軽にお越しください。

■日時

8月8日(土)
午後2時～5時

■場所

南河内公民館 和室
(下野市田中681-1)

■定員

なし

■参加費

無料

■申し込み

申し込みは不要です。当日会場にお越しください。

■問い合わせ先

下野市国際交流協会事務局
(下野市役所市民協働推進課内)
☎(40)555855

携帯電話
市ホームページ



■人口と世帯 (6月1日現在)
 人口 / 60,255人 (+30)、男性 / 29,985人 (+17)、女性 / 30,270人 (+13)、世帯数 / 22,808世帯 (+51)

TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎0285(40)5550 情報広報グループまでご連絡ください。

PC・スマホ
市ホームページ

